

農業分野事例紹介

File No,

AG-0002

農作物 品種	巨峰 -	使用方法 1回の使用量	土壌灌水(大地) 1.5L / ha	葉面散布(大地) 1L / ha
作付面積	1ha (約10,000m ²)	希釈倍率	適量	3,000倍
栽培方法	路地栽培	希釈水量	適量	約3,000L / ha
栽培期間	11月~9月	使用回数	5回	2回
適用製品	大地の友・MITAKA1000	使用頻度	月に1回	

課題や目的など

品質の向上と収穫量のアップを目的に使用する。

散布計画、
使用方法、等

11月に大地の友を根元に散水。5月の芽吹き時にMITAKA1000を葉面散布。その後は、月に1回を目安に大地の友又はMITAKA1000(1,000倍希釈)を葉面散布する。

現場写真・データ



農園全景



房の様子



※今年は天候不順のため日照時間が短く、同地域のブドウの生産は今一つであったが、製品を使用した本農園では、農園主の想定を超えた良い仕上がりとなった

使用者の声

例年と比べて葉の色や厚みに明らかな違いがあった。また、種あり巨峰の場合、花が開花し過ぎた後、房作りをした際に房を振っても実になるところが落ちなかった(この現象はとても珍しい)。

近くの農園では違う実の色が着いてしまうマーブル現象が多くみられたが、うちの農園ではほとんどみられなかった。最終的に例年に比べ、実に味の乗る時期が早まり味が深まり、糖度も向上した。また、例年よりも農薬の使用を回避することもできた。